

MPE720 バージョンアップ情報

1. 機能追加・改善項目

MPE720 Ver5.40A →Ver5.41 の機能追加・改善項目は次のとおりです。

N o.	機能項目	分類
1	アプリケーションコンバータの MP940 対応	機能追加
2	表データ比較処理対応	改善
3	転送機能のチェック動作改善	改善
4	ユーザメニューからの起動 (SVB) 不具合	未然防止
5	メディア転送時にランタイムエラー不具合	未然防止
6	システム定義の保存確認について	未然防止
7	I/O メッセージ通信の入力/出力 disable の動作	未然防止
8	文字名称の誤り	未然防止
9	MP2310/ MP2300S SVB リニアタイプの単位表示不具合	未然防止
1 0	固定パラメータ入力範囲不具合	未然防止
1 1	260IF の割付可能サイズ不良	未然防止
1 2	モーションプログラムで半角カタカナ使用時の不具合	不具合修正
1 3	PLC 名称チェック不良	不具合修正
1 4	MSEE 命令後の現在値表示不具合	不具合修正

2. 修正内容説明

No. 1 アプリケーションコンバータの MP940 対応

アプリケーションコンバータにおいて、MP940 を自動変換対象として選択できるようにしました。

変換対象：MP940/MP940M/MP940D

変換元の MP940	変換可能な MP2000 シリーズコントローラ
MP940/MP940M	MP2300 MP2310 MP2300S
MP940D	MP2300 MP2310

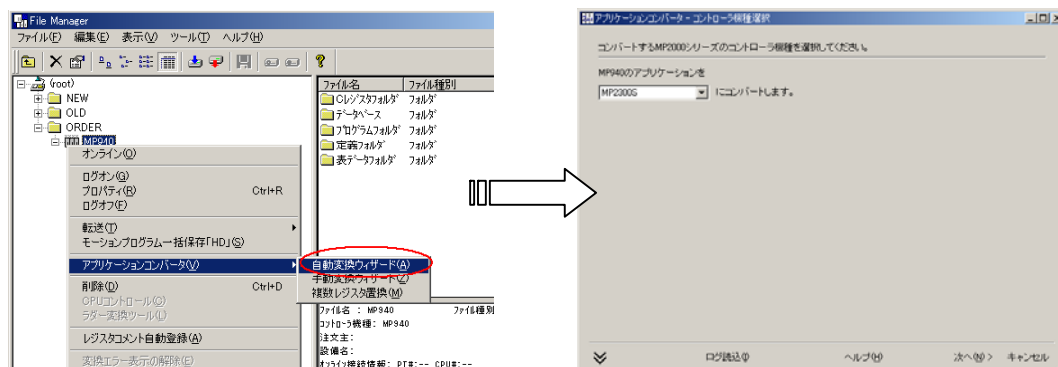
※S 図面は、MP2000 シリーズに変換することができません。

※S レジスタは、アプリケーションコンバータの変換対象外です。

※S スキャンに割り付けられた定義は、MP2000 シリーズに変換すると H スキャンに割り付けられます。

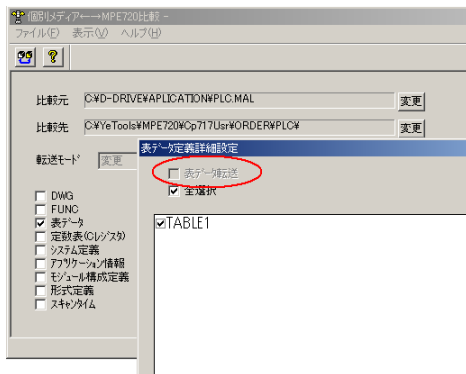
※MP940M の MLINK 定義は、MP2300S では M-II (32 byte/ 0.5ms) に変換されます。この時、MLINK 定義に割り付けられた I/O モジュールは M-II では使用できないため、変換可能な M-II 対応のモジュールがない場合は、*****I/O に変換されます。

※MP940 の 6slot 目に 261IFS を選択している場合は、変換対象外となります。



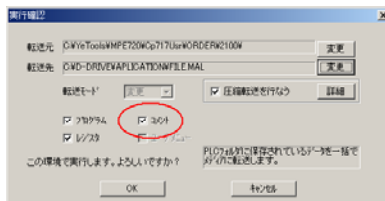
No. 2 表データ比較処理対応

従来表データは比較の対象外でしたが、オンライン/オフライン共に表データを比較対象に加えるようにしました。

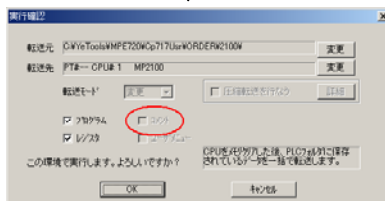


No. 3 転送機能のチェック動作改善

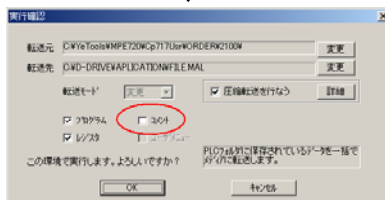
一括転送のメニュー項目(プログラム/レジスタ/コメント)において、コメントのチェックボックスにチェックを入れていても、オンライン転送を行った後にオフライン転送を行うと、チェックが外れていましたので、オンライン転送の際には、内部的にチェック状態を保持することでオフライン転送後にオンライン転送を行ってもチェックが外れないようにしました。



オフライン転送でコメントのチェックボックスにチェックを入れる。



オンライン転送を行う。



オフライン転送でコメントのチェックボックスのチェックが外れてしまう。

No. 4 ユーザメニューからの起動 (SVB) 不具合

SVB 詳細定義画面をユーザメニューに登録し、ユーザメニューから SVB 詳細定義画面を起動した際に「Don't support module.」とメッセージが表示される現象があったため、これを修正しました。

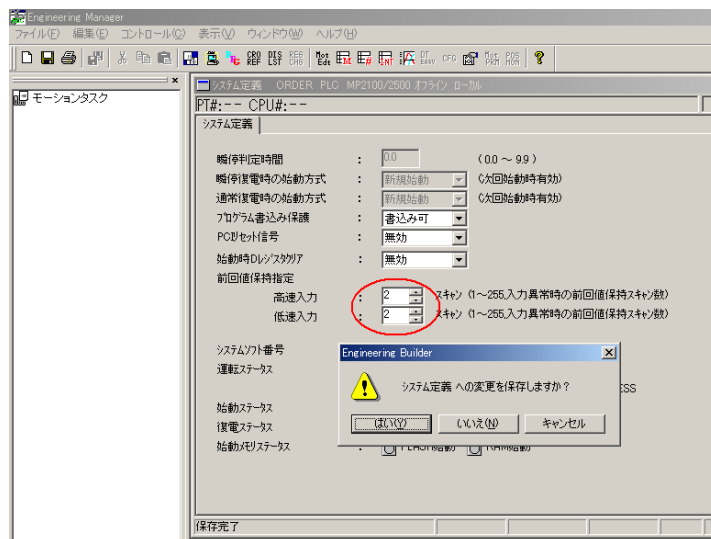
また、ユーザメニューから起動した SVB 詳細定義画面のパラメータのタブを切り替えた際にも同じメッセージが表示されていたので、これも修正しました。

No. 5 メディア転送時にランタイムエラー不具合

MPE720 からメディアに圧縮転送を行う際に、転送先に同一名称の読み取り専用のファイルが存在する場合、転送を行うとランタイムエラーが発生していました。このため、転送先に書き込み禁止のファイルが存在していて、ファイルが削除できない場合、エラーメッセージを表示して転送を中断するようにしました。

No. 6 システム定義の保存確認について

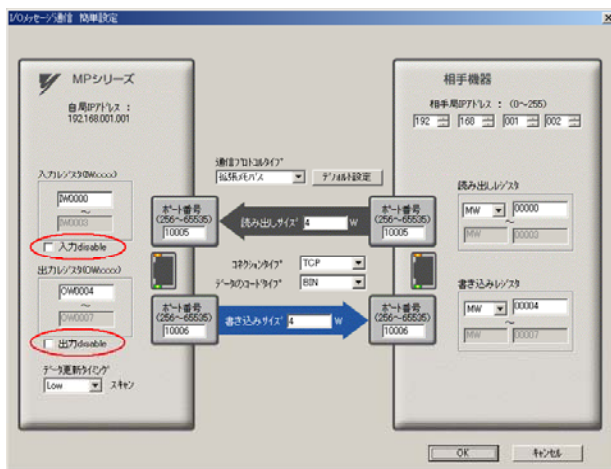
システム定義の「前回値保持指定」の「高速入力」または「低速入力」の欄にカーソルを移動した状態で PLC フォルダをログオフした際、システム定義を保存していても「システム定義への変更を保存しますか？」とメッセージが表示されていたので、編集があった場合のみメッセージを表示するようにしました。



No. 7 I/O メッセージ通信の入力/出力 disable の動作

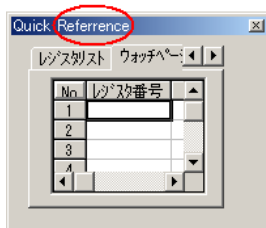
218IFA 詳細定義画面の I/O メッセージ通信で「入力 disable」と「出力 disable」との動作が異なっていました。

「入力 disable」はチェックボックスにチェックを入れると、チェックを外すまではチェックが入ったままですが、「出力 disable」はチェックボックスにチェックを入れても、「プロトコルタイプ」を変更したり、簡単設定の「デフォルト設定」ボタンをクリックしたりすることでチェックが外れる現象が発生していました。このため、「プロトコルタイプ」の変更と「デフォルト設定」の処理で「出力 disable」の値をクリアしないように修正しました。



No. 8 文字名称の誤り

エンジニアリングマネージャでクイックリファレンスを表示し、フローティングの状態にした時に表示されるタイトルのスペルが間違えていましたので、これを修正しました。



No. 9 MP2310/ MP2300S SVB リニアタイプの単位表示不具合

SVB のモーションパラメータのモータ種別をリニアタイプに切り替えた際、No. 6「リニアスケールピッチ」の単位表示が「um」と間違えて表示されていたので、これを修正しました。

また、No. 34「定格速度」の単位表示も「0.1m/s」と間違えて表示されていたので、これも修正しました。

固定パラメータ			
No.	パラメータ名称	設定データ	単位
0	運転モード選択	通常運転モード	
1	機能選択フラグ1	0000 0000 0000 0000	H
2	機能選択フラグ2	0000 0000 0000 0000	H
4	指令単位選択	pulse	
5	小数点以下桁数	3	
6	リニアスケールピッチ	10000	um
8	モータ割込比	1	rev(回転)
9	機械割込比	1	rev(回転)
10	無限長軸のセット位置 (POS MAX)	360000	指令単位
12	正方向リミット値	2147483647	指令単位
14	負方向リミット値	-2147483648	指令単位
16	バックラッシュ補正量	0	指令単位
30	エンコダ選択	インクリメンタル	
34	定格速度	3000	0.1m/s
36	リニアスケールピッチあたりのA'数	65536	pulse/A'数
38	絶対値エンコダ最大回転量	65534	rev(回転)
42	フィードバック速度移動平均時定数	10	ms

No. 10 固定パラメータ入力範囲不具合

MP2100 内蔵 SVB の固定パラメータ No. 16「バックラッシュ補正量」の設定範囲が(0～2147483647)となっていたので、(-2147483648～2147483647)に変更しました。

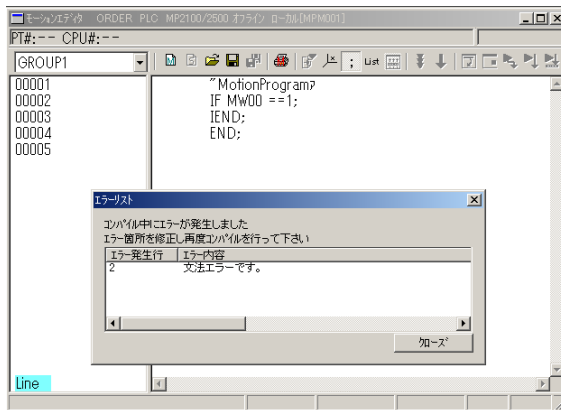
固定パラメータ			
No.	パラメータ名称	設定データ	単位
0	運転モード選択	通常運転モード	
1	機能選択フラグ1	0000 0000 0000 0000	H
2	機能選択フラグ2	0000 0000 0000 0000	H
4	指令単位選択	pulse	
5	小数点以下桁数	3	
6	機械1回転あたりの移動量	10000	指令単位
8	モータ割込比	1	rev(回転)
9	機械割込比	1	rev(回転)
10	無限長軸のセット位置 (POS MAX)	360000	指令単位
12	正方向リミット値	2147483647	指令単位
14	負方向リミット値	-2147483648	指令単位
16	バックラッシュ補正量	0	指令単位
30	エンコダ選択	インクリメンタル	
34	定格回転数	3000	min-1
36	モータ回転あたりのA'数	65536	pulse/rev
38	絶対値エンコダ最大回転量	65534	rev(回転)
42	フィードバック速度移動平均時定数	10	ms

No. 11 260IF の割付可能サイズ不良

260IF を使用する際に各スレーブ局で割り付けできるサイズの上限が仕様では 256byte ですが、実際にはそれ以上割り付けることができていたため、これを修正しました。

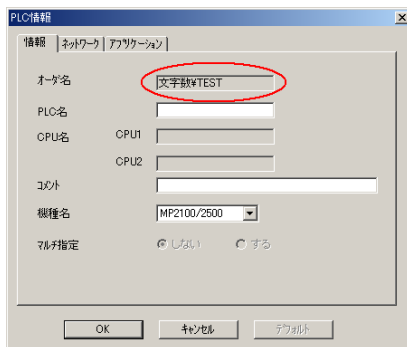
No. 12 モーションプログラムで半角カタカナ使用時の不具合

モーションプログラムで半角カタカナ（文字コードが 0x80 以上の 1byte 文字）を使用した場合、保存でエラーとなったり、誤ったコードを生成したりすることがありましたので、これを修正しました。



No. 13 PLC 名称チェック不良

グループ、オーダ、PLC フォルダに入力された名称の区切りごとに分割する処理において、区切り文字の判定処理で問題がありました。そのため、使用する文字列によっては区切り位置を誤って判断してしまい、フォルダ名称として使用可能な文字数であってもエラーとなっていたので、これを修正しました。



No. 14 MSEE 命令後の現在値表示不具合

MSEE 命令より後ろにある新ラダーの現在値がずれて表示されていたので、正しく表示するようにしました。